

登山
ハイキング

ナイトハイキング

2

1 活動のねらい

昼では味わうことのできない夜の自然の静寂さと星空、風の音、木々の葉の触れ合う音、虫のささやきなどに触れることを通して、自然に親しむ心情を育てます。

2 育てたい能力

B2 自然への関心

A7 適応行動

A4 交友・協調

※Aは心理的・社会的能力 Bは徳育的能力 Cは身体的能力 詳細は別紙参照

3 活動場所

- ・ほたるの道
- ・ほおのきの道（自然の家⇄K点）

※実地踏査により、独自のコースの設定も可能ですが、原則として自然の家周辺とします。

4 活動時期

4月～11月

5 所要時間

- ・1時間（ほたるの道）
- ・1～1.5時間（ほおのきの道）

6 指導形態

団体の引率者が指導者となって行う活動



7 準備物

【団体・個人で準備するもの】

- ・懐中電灯 ・貸し出し用ランタンのための電池（単1を3～4本）
- ・ローソク（食堂売店で購入可）

大1本：130円	燃焼時間約9時間、長さ約22cm
中1本：30円	
小1本：20円	
	燃焼時間約90分、長さ約11cm

【自然の家で貸し出しできるもの】

- ・コース地図 ・ランタン ・カンテラ ・熊鈴 ・無線機1台（自然の家と団体との緊急連絡用）

8 活動の手順

(1) 事前

- ①自然の家職員と打ち合わせを行い、実地踏査で現地の状況を把握した上で計画を立てます。

②引率者の役割分担を決めておきます。

- ・必要に応じて、パトロール係、スタート係、準備係等を決めておきましょう。

③参加者の班編成をしておきます。一班は4～8名程度が望ましいです。

④安全確保のため、班でまとまって行動すること、コースに迷ったら前のポイントまで戻ること、活動に適した服装についての事前指導を行います。

(2) 活動

①出発にあたって、自然の家事務室に報告し、無線機等を借ります。



②人数確認、服装・装備・持ち物の点検、健康状態のチェックをします。



③活動のねらいを確認します。



④コースと注意事項を説明します。

- ・危険箇所
- ・危険な行動
- ・危険な動植物
- ・班行動
- ・自然保護 等

⑤スタートは5分位の間隔をあけて班ごとに出発してください。



⑥終了後、**点呼**をとり、健康状態はどうか確認をしてください。



⑦自然の家事務室に**活動終了の報告**をし、借用物品を返却します

(3) 事後

①活動についての振り返りを行い、体験が今後に生かせるようにしましょう。

9 留意点

- ・事前、事後の健康管理に留意してください。
- ・活動後は、かならず**点呼**をとり、**人数を確認**してください。
- ・グループで**まとまって行動し、バラバラにならないように事前指導**を行ってください。
- ・樹木を傷つけたり、自然を破壊したりしないように注意してください。
- ・事故発生時には速やかに自然の家に通報をしてください。
- ・コース中に、団体独自の課題を設定することも可能です。※設置物は、活動後必ず回収！